

我が国における子宮および卵巣原発の悪性黒色腫の現状に関する

調査研究について (KCOG-G1701s)

本調査研究の概要を以下に示します。【対象】に該当すると思われる方で、本調査研究に関するお問い合わせや調査の対象となることを希望されない場合は、担当医にお申し出ください。

【本調査研究の目的】

子宮および卵巣原発の悪性黒色腫は非常に稀な疾患であり、その臨床像や適切な治療法が確立されていません。また皮膚の悪性黒色腫においては、近年注目されている免疫チェックポイント阻害剤の有用性が報告されています。そこで私たちは、子宮および卵巣原発の悪性黒色腫について多施設共同研究にて集積して、臨床像、治療法、予後を把握し、予後因子の検討を目的に本研究を計画しました。また PD-L1 や PD-1 の免疫組織化学的発現についても検討を加えます。

【対象】

1997年4月1日から2017年3月31日までの20年間に、子宮もしくは卵巣原発の悪性黒色腫と組織診断を受けた方。

【調査項目】

<患者背景因子>

年齢、部位、臨床進行期、Breslow 厚、TNM 進行期、既往歴、家族歴、腫瘍マーカー、組織型サブタイプ、AJCC 進行期

<治療関連因子>

初回治療、治療開始日、治療終了日

手術について：目的、術式、完遂度

化学療法について：術前、術後、目的、レジメン、コース数、治療効果判定

放射線療法について：目的、照射野、総線量、治療期間、治療効果判定

術前、初回及び術後同時化学放射線療法(照射野、照射方法、総線量、治療期間、

分子標的薬について：目的、レジメン

免疫チェックポイント阻害剤について：目的、レジメン

<免疫組織化学>

PD-L1 や PD-1 の免疫組織化学的発現

<転帰>

再発の有無、再発確認日、再発治療、生存の有無、最終生存確認日

【研究期間】

2017年8月14日から2018年12月31日（調査状況により調査期間を延長する可能性

があります)

【研究機関・組織】

KCOG 参加施設および Intergroup

【代表者連絡先】

矢野 光剛 (大分大学医学部 産科婦人科、埼玉医大国際医療センター 病理診断科)

〒879-5593

大分県由布市挾間町医大ヶ丘 1 丁目 1 番地

大分大学医学部産科婦人科 KCOG-1701s 事務局

TEL: 097-586-5922

FAX: 097-586-6687

E-mail: yano1210@oita-u.ac.jp

奈須 家栄 (大分大学医学部 産科婦人科)

〒879-5593

大分県由布市挾間町医大ヶ丘 1 丁目 1 番地

大分大学医学部産科婦人科 KCOG-1701s 事務局

TEL: 097-586-5922

FAX: 097-586-6687

E-mail: nasu@oita-u.ac.jp